

他大学技術職員との交流を活かして

第24回 関東甲信越地区技術職員懇談会

筑波大学医学医療系技術室 矢部一徳

大学で行われる3つの解剖

- 正常解剖 - 人体の構造を調べるための解剖
- 病理解剖 - 死後、すぐ病変を調べるための解剖
- 法医学解剖 - 変死体の死因を調べるための解剖

解剖(献体)業務について

- 献体団体の事務
- 解剖実習の補助、標本作製
- 遺体引き取り、防腐処置
- 遺体の管理
- 遺体の火葬、返骨

「解剖・組織技術研究会」について

解剖・組織技術研究会は日本解剖学会 解剖組織技能士資格審査委員会公認の技術職員研修のための会である。

- 横のネットワーク

解剖系技術職員 国公立医学部(42, 8, 31)81校、歯学部(11, 1, 17)29校

- メールングリストの活用

横のつながりを持つためメールングリストを利用している。

会員間の質問や情報交換がメールングリストを通して行われる。

- ホームページを作成

解剖学会関連委員会の指導のもとHPを作成している。

[HTTP://SQUARE.UMIN.AC.JP/KS-GIKEN/](http://square.umin.ac.jp/ks-giken/)

閲覧には、解剖の専門的な部分も掲載しており、会員だけの閲覧制限を設けている。

解剖・組織技術研究会 ホームページ

解剖・組織技術研究会 TopPage

square.umin.ac.jp/ks-giken/

Google 筑波大学 筑波大学教職員専用... マップ IEブックマーク

すべてのブックマーク

日本解剖学会解剖組織技術者資格委員会公認
解剖・組織技術研究会

本会について

本会は、2002年4月、日本解剖学会解剖組織技術者資格委員会のご支援により発足しました。医学生物学に関する「形態学分野における技術の伝承と発展」を基本理念として、日本解剖学会と連携して会員相互の技術力の向上と解剖学関連技術の普及を図る事を目的としています。

= 閲覧制限（会員限定）を『ユーザー&パスワード』により行っています =

CONTENTS
■ トップページ
■ 本会の紹介
■ 年間活動予定
■ 研修会（秋）
■ 研究・研修会（春）
■ 臨時研修会・アンケート・他
■ お知らせ
■ お問い合わせ
■ リンク

TOPICS

- 2020年4月より新HPの運用を開始しました。気になる点がございましたら、どんな細かな点でも結構ですのでお気軽にお問い合わせください。皆様のお力添えでより良いHPにしていきたいと思っております。
- リンクに過去の抄録集があります（一部のみ）、ご活用ください。
- その他研修会にはメーリングリストのアンケート結果をまとめております。メーリングリスト共々、ぜひご活用ください。

NEWS

- **2024年9月13日** 2024年11月23日に「解剖・組織技術研究会 第20回研修会」が東京歯科大学にて開催されます。（11/22 東京歯科大開催の実務担当者研修会翌日）
- **2023年11月20日** 会費の振込先が変更になりました。
（団体名での口座開設が困難のため、会計幹事名の口座を使用します）

Windowsのライセンス認証
設定を開き、Windowsのライセンス認証を行ってください。

5

24°C
くもりのち晴れ

検索

11:32
2024/10/01

主な取り組み

- 実習室の改修

 - 局所排気装置付き解剖実習台の導入

- 新型コロナウイルス感染症防止策

 - コロナ禍での解剖実習について

- 遺体取り違え防止策

 - ステンレスタグの取り付けについて

- 献体取扱マニュアルの編集

実習室の改修

局所排気装置付き解剖台

旧解剖実習室(改修前)



光触媒環境浄化装置



紫外線
ランプ

セラミック
フィルター

還流方式プッシュプル型換気装置



改修の検討

- 「特定化学物質障害予防規則 (特化則) 等の改正」によるホルムアルデヒド濃度基準値の変更
(0.25PPMから0.1PPMへ)
- 全体換気システムの限界
- 光触媒は即効性が弱い
- 還流方式プッシュプル型換気装置はランニングコストが高い



局所排気装置付解剖台の導入へ

局所排気装置システムの導入



点検項目

- 解剖台の点検
 - ⇒ 廃液タンク、解剖台に損傷が無いか確認
- 解剖台の送気及び排気量の調査
 - ⇒ 風量計を用いて1台ずつ風量を測定
- フード及びダクトの腐食、損傷の有無
 - ⇒ 屋外ダクトの目視点検
- ダクト接続部の緩み
 - ⇒ ジャバラホースとダクト及び解剖台の接続部の確認

新型コロナウイルス感染症防止策

コロナ禍での解剖実習について

メーリングリストを利用しての情報交換

- ・解剖実習は行われているか？
- ・どのような対策をして解剖実習を行っているのか？
- ・遺体の引き取りを行っているか？
- ・どのような対策をして遺体引き取りに行っているのか？

新型コロナウイルス感染防止対策

- ・3月 新型コロナウイルス感染が疑われる遺体の引取り停止
- ・4月 緊急事態宣言に基づき遺体の引取をすべて停止
(R2/4/9～5/31)
- ・7月 感染拡大の増加により再度遺体の引取をすべて停止
(R2/7/31～8/31)
- ・実習期間の変更(5月開始を8月末の開始に)
- ・10月 慰霊式の中止

新型コロナウイルス感染防止対策実習

実習期間(R2/8/28~10/8)

・非接触型体温測定装置の導入

KAOIRO(非接触AI検温モニター)を2台実習室入口前に置き検温をして入室

・マスク、フェイスシールドの着用

フェイスシールドを全員に配布し、着用を徹底した

・ロッカー一室を使用禁止とした

密閉された小部屋で換気が悪いため

・定刻での休憩時間を無くした

学生は自由な時間に適宜休憩を取る

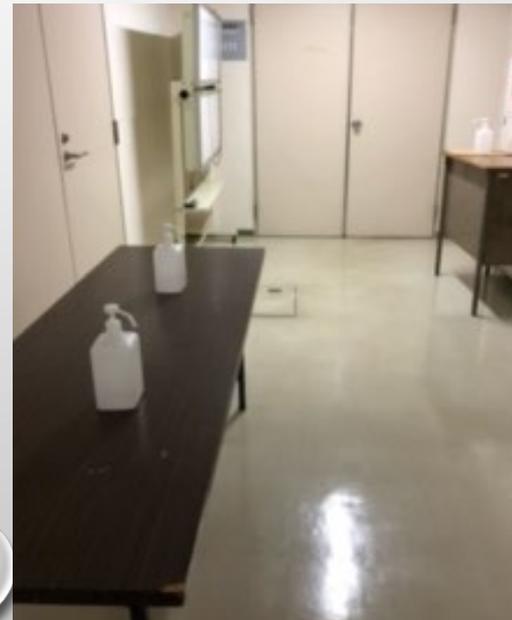
コロナ禍での解剖実習



フェイスシールド ⇒



← KAOIRO
(非接触AI検温モニター器)



献体取扱マニュアルの編集

解剖体取扱い不適切事案

- 2019年 A大学で火葬の際の遺体取り違え
 - 2021年 B大学での遺骨の返還にかかる不手際
 - 2022年 C大学の遺体不適切処置
- 我々担当者にとって通常あってはいけないことで本当に驚いている。
このような事を教訓にマニュアルの作成を行った。

主な取り組み

- 実習室の改修

 - 局所排気装置付き解剖実習台の導入

- 新型コロナウイルス感染症防止策

 - コロナ禍での解剖実習について

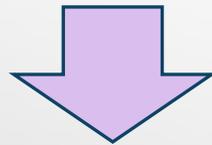
- 遺体取り違え防止策

 - ステンレスタグの取り付けについて

- 献体取扱マニュアルの編集

献体取扱マニュアルの編集

- 各大学の技術職員が定年となり、人の入れ替わりが行われている
- 大学独自の方法を引き継いでいるが、引継ぎがうまくいっていない



この方法の意味は何だろう ??

ほかの方法はあるのだろうか ??

こんなことを聞いて良いのだろうか ??



献体取扱マニュアル

献体取扱マニュアル

— 献体登録から遺骨返還まで —

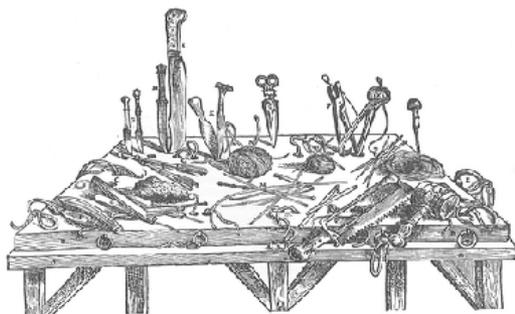


FIG. 1. ANATOMY OF THE HUMAN SKELETON

解剖・組織技術研究会

2023

引取・承諾手続

もくじ

はじめに

引き取りの前段（献体登録、会員管理）

1. 家族（親族）の状況確認の重要性
2. 解剖の種類による個別の同意など

引き取りの実際

1. 遺族の意思確認
2. 同意を得る遺族の範囲
3. 同意を得る（解剖を拒まないことの確認）の形式
4. 遺族がない場合
5. 遺体の状況確認
6. 遺族への説明
7. 引き取りに注意が必要な遺体（溢死、溺死、交通事故死等）
8. 状態の保持

事務的処理（法律関係）

1. 解剖承諾書の書式、同意の条件
2. 遺族がないかもしくは不明の場合の手続き
3. 解剖前の遺体の返納
4. 記録しておくべき事項

火葬・遺骨返納・搬送終

参考資料

関連法規抜粋

これまで解剖・組織技術研究会を通して多くの技術職員と交流を持つことができました。交流のなかで実習室や処置の様子などを見学する機会もいただきました。貴重な情報をいち早く得ることもあり、大変役に立っています。

各大学で職員の入れ替わりがありますが、新任の方にもこの会に参加していただき、多くの技術職員と交流を持ち、相談ができるようになっていただきたいと思います。各大学に研修会等の案内を出しております。

現在私は会を運営する側になっております。同じ解剖を担当する技術職員のために少しでも貢献できるようにと頑張っております。

皆さんも横のつながりを大事にし、業務に役立ててみてはいかがでしょうか。

ご清聴ありがとうございました。



27